

## FD ネットワーク “つばさ” 令和 6 年度

学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」を開催しました。

令和 7 年 2 月 17 日（月）に、山形大学小白川キャンパス（山形市）において、FD ネットワーク “つばさ” の事業である、学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」を開催しました。このコンテストは、学生が主体的に学習活動を行う授業（アクティブ・ラーニング）を展開している教員の授業から学生が集まり、自分たちの活動の目的・内容・方法等について、合同で成果の発表を行うものです。発表に向けた準備や当日の質疑応答を通して、学生が①自分たちの学習活動のプロセスと学習成果を振り返り、②達成の喜びと自己肯定感の向上を味わうとともに、③今後の学業や大学生活のさらなる充実に向けた目標設定を行うことを目指しています。

令和 5 年度から実施を再開したこのコンテストですが、今年度は FD ネットワーク “つばさ” の加盟校から 7 チームの学生らが集まりました（内訳：札幌大学 1 チーム、北翔大学 1 チーム、東北芸術工科大学 1 チーム、山形県立保健医療大学 1 チーム、山形大学 3 チーム）。

学生発表は、10 分という短い時間の中で、専門的かつ具体的な自身たちの考えが上手くまとめられており、発表の仕方にも工夫を凝らしているチームが多く、昨年度開催時よりもさらにレベルの高いものとなっている印象を受けました。

優秀チームには栗山恭直教授（FD ネットワーク “つばさ” 運営会議議長）から表彰状と副賞の図書カードが贈られました。1 位に輝いたチームは札幌大学の学生チームであり、昨年度から 2 連覇を飾りました。

コンテスト終了後の意見交換会では、他大学の学生同士でお互いの発表の感想を言い合ったり、自身の大学のことを紹介するなど自由に交流を楽しみました。

### 【コンテスト結果】

【第 1 位】「ゼミナールⅡ」（札幌大学）

【第 2 位】「フィールドラーニングー共生の森もがみ②（山形から考える）」（山形大学）

【第 3 位】「フィールドラーニングー共生の森もがみ①（山形から考える）」（山形大学）

【当日の様子】





